令和6年12月25日（水曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（経済観光）

議会会議室

出席議員

竹中由佳、中西祥子、石見和之、宮本吉秀、
西村しのぶ

出席高校生

淳心学院高等学校 4人、姫路西高等学校 4人

開会 13時56分

委員長挨拶 13時57分

出席者紹介 13時59分

意見交換 14時01分

○ テーマ

・観光戦略の見直し

「発想の転換を。観光客を呼び込むには」

（委員長）

両校から資料に基づき、本テーマに関する提案をしたいとの申出を受けているので、説明を受けることとする。

（高校生）

【淳心学院高等学校が資料に基づき説明】

【姫路西高等学校が資料に基づき説明】

（高校生）

友人が台北101の展望台でチケット購入する際、最初、販売員との通話は英語であったが、マイクスイッチの切替えで日本語通話となったそうだ。

姫路城も外国人観光客が多いので、多言語対応をしていると思うが、未実施の対応方法もあると思う。

また、2日間限定の大手前通りイルミネーション歩行者天国が開催されたが、期間限定の出店など、もっと大規模なイベントとして開催してもよかったですのではないのかと感じた。

（委員長）

淳心学院高等学校からは、本市のSNS戦略を強化する提案があり、姫路西高等学校からは、周遊型観光へのシフトと大阪・神戸と本市へのアクセスが悪いという課題に対する提案があった。

また、観光地における外国語対応と、大手前通りイルミネーション歩行者天国でのクリスマスマーケットの実施など、具体的な提案もあったが、感想や意見はどうか。

（委員）

SNSに関しては、私たちと大分発想が違うと感じた。本市には大津のレンコンや太市のタケノコなどの特産品があるが、指摘のとおりユーチューブ配信での閲覧数は数百回程度であるし、私も経済観光委員会において配信映像を見て食べたいのかという意見を委員会で指摘している。今回、若い人からも同様の捉え方がされているのがはっきりしたので見直しが必要だと思う。

また、各SNSの投稿をもっと統一したほうがいいという意見はヒントになるし、しろまるひめが評価されているのであれば、特産品の名称を「しろまるメロン」「しろまるサバ」などのように統一するのも記憶に残りやすくいいかと思う。

大手前通りイルミネーションについては、大手前通り沿いのお店が夜になると閉店しているとか、大手前通り周辺が暗いのは残念である等の意見も聞いているので、委員会での提案のヒントになると思う。

（委員長）

皆さんの指摘と提案は、まさに本市に足りていない部分だと感じている。

（委員）

我々と高校生の皆さんとは、立場と視点は違えども、同じ課題認識を持っていると感じた。

ただし、現在の行政の進め方については、直感や経験ではなく、実際のデータや根拠を基に、合理的にどのような効果が生み出せるのかを測定しながら実施するというEBPMが求められている。

社会実験や事業には必然的に時間と費用がかかるので、実施してどれだけ意味があるのかをしっかりと考える必要がある。

SNSとしろまるひめの提案はとても効果が高いと思うが、具体的なターゲット層、アイデアやイメージがあれば説明してほしい。

（高校生）

例えば、函館市のホテルでの食事は海鮮がとてもおいしい。ホテルが次々と建設され、競争も激しくなっているが、その原因はSNSでの評判が拡散されているからだと思う。

拡散規模が大きくなればなるほど、観光客も多く集まると考えたので、それを根拠として提案した。

(高校生)

ターゲット層は、高齢者から子どもまでの全世代が姫路はいいなと思えるよう考えた。

(高校生)

SNSについては、ティックトックは若者向けで、インスタグラムはもう少し上の世代が見ると思う。ユーチューブは、全年代が見ると思う。

各SNSを視聴者層ごとに使って、ターゲットを絞り込んでいけばいいと思う。

(高校生)

SNSごとに投稿内容を変えてみるのもいいと思う。ティックトックであれば、今、はやっているものや「映え」を意識し、年配の人の利用の多いフェイスブックであれば、その年代層で関心の高い施設などの情報を投稿すればいいと思う。

(委員)

各SNSの内容をより精査していくと本当に精度の高い事業が実現できると感じたので、引き続き提案があれば話を聞きたいと思う。

姫路西高等学校の提案資料の中の「観光客が行く姫路の観光スポット」で、「若い人、家族連れが多いと推察」、「書写山円教寺など車・バスを利用しなければならない場所はランキングに入っていない」と説明があり、その分析結果による提案があったが、どのような観点からそのような結論に行きついたのか説明してほしい。

(高校生)

近年は交通公共機関がかなり発達しており、自動車を保有していない人も多い。できるだけ長く滞在してもらうには、いろいろなところに行ってもらふべきであるので、自動車を利用しない人にも、もっと観光を楽しんでもらおうという観点から提案した。

(委員)

タクシー・バス会社との連携、レンタルサイクル「姫チャリ」の拡大の提案については、今定例会において、姫路の観光には、タクシー業界とより連携を深めていく必要があるとの意見が出されたところである。皆さんから見て、タクシーなどの公共交通に関し、時間、利便性、料金面に対する意見があれば伺いたい。

(高校生)

姫チャリは利用時にアプリ登録が必要であるが面

倒くさいと思う。ワンコイン制など即時性の高い利用ができればと思う。

(高校生)

姫チャリは、中学生時代に利用していた時期があったが、どこにでも自転車があるわけではなく、使いづらかった印象がある。自転車を止めるサイクルステーションを増やしてほしい。

(委員)

サイクルステーション数はかなり増えたと思うが、確かにまだまだ足りないと思う。

(高校生)

姫チャリの利用料金は30分単位だと思うが、もう少しその幅を広げたほうがいいと思う。

(高校生)

たくさんのタクシーが止まっているのは姫路駅しか知らないが、これでは、姫路駅周辺にしか人が集まらないと思う。もっと、多くの場所にタクシーを配置し、いろいろなところに行ってもらえるようにする必要があると思う。

(委員)

こんな短時間で多くの課題や改善点が上がってきた。学生も含め、もっと幅広く多くの人にアイデアを出してもらえれば、これはというものが出てくるかもしれない。

タクシーを止める場所については、場所の確保や整備に費用がかかるが、やり方一つですぐにできることもあるので、実現性の高いもの工夫をぜひ見つけていきたいと思う。

(委員)

私は70歳前であり、ティックトックを一度も使ったことがないが、妻は活用しているし、投稿写真1枚で世界各国から何十万もの人がやってくる時代であるのでSNSは確かに重要と思う。

また、旅行に行く場合、例えばグルメや観光地などを目的に計画を立てることがあるが、その際に知名度がないと最初から計画に上がらない。本市には知名度のある姫路城だけでなく、ほかにも素晴らしいものがあることをもっと発信していきたいという皆さんの意見は、そのとおりだと思う。

ただ、先ほどの提案であれば、新たに発信すべきものの発見や通っていない交通結節点があれば事業者

と一緒にその改善の協議をしていくことも大事であるが、業者側にしてみれば、儲けが出ないといけない。

また、SNSも新しいものが次々出てきている。扱いの慣れていない若い人たちが、このような意見等を発信してくれると、我々にとってもこのような方法があると勉強になる。

観光だけでなく市政全般にも興味を持ってもらい、みんなが意見を発信し、それが広がれば、やがて大きな1つの意見として議会や市にも集約されてくると思う。

(委員長)

各校のプレゼンテーションに対して、高校生同士で聞いてみたいことはあるか。

(高校生)

私は遊びに行く場合、グーグルではなく、インスタグラムが一番きれいに見えるため活用しているが、どのアプリを使っているのか。

(高校生)

グルメ目的であれば、紹介投稿の多いティックトックだ。ティックトックとインスタグラムが二強と思う。

(高校生)

大阪や東京への旅行、体験などを探すときにはグーグルも使うが、SNSではインスタグラムが一番強いと思う。

(高校生)

SNSでは自分から調べたりしない。流れてきたショート動画などで見つけることも結構ある。

(高校生)

私はユーチューブしか使っていない。ユーチューブのショート動画も、同じような動画しか流れてこない。

(高校生)

拡散力そのものを市が持つより、フォロワー数を増やすことを優先したほうが、コストパフォーマンス的にいいと思う。

(委員長)

まずフォローしてもらわないと、その後の投稿も目に触れられないということか。SNS戦略に、ぜひ生かしていきたいと思う。

(高校生)

神戸のスーパースタジアムが今年の3月に完成したが、SNSでフォローしたら、クーポンがもらえたり、

時間延長できたりという特典があった。従業員も若い人が多くInstagramなどの発信力がとても強い。

別の話となるが、親世代に届けさせようと思えば、どのSNSがいいのか。

(高校生)

親世代となると、グーグルやユーチューブが多いと思う。

(高校生)

親世代はちょうどフェイスブックとInstagramの間ぐらいだと思う。両方使うのが理想だが、子どもの意見で親も使うと思う。

(高校生)

InstagramとBASE連携での割引とか、子どもが使うと親にもアプリを入れさせると思う。家族の中から広がっていくと思う。

(委員長)

年代ごとに使うSNSが全然違うので、全世代に観光情報を届けるためには、SNSの使い分けが必要だと思う。

(委員)

議員は全世代から意見を聞く。若い人は情報収集の方法もデジタル化が進んでいるが、年配の人はまだまだ紙媒体での広報によっている。

私は広報ひめじに対して、ホームページに誘導するQRコードの導入を議会で提言したが、SNSにも誘導するような形も検討が必要だと思う。

また、企業もデジタル化の導入の流れは急速であり、例えばチケットにしても昔は紙であったものが今では携帯電話がその代わりになっている。その変化についていくのも大変であるし勉強が必要だ。

観光テーマとは外れるが、本市でも「住みつけたいひめじプロジェクト」を立ち上げて何回か会議を開き市民から意見を聞いている。この座談会もそうであるが、若い人のくくりで意見を聞ける場所をどんどん設けていけば、様々な意見交換ができるので、このような機会がもっと増えていけばよいと思う。

大手前通りイルミネーション歩行者天国のにぎわいについては、2週間程前に大手前公園で開催した「姫路食博 2024&ほろ酔い横丁」に比べると、確かに人の集まりが少し寂しかったと思う。試行的にやっていることもあるが、観光イベントについても、若い

人がどんどん行ってもらって、良かった点や改善点の意見が聞ける場があればよいと思う。

なお、大手前通りイルミネーションについては、「#あたらし夜」を付けてSNS投稿しようというものがあった。私も一度だけ投稿してみたが、私たちの世代はちゅうちょしてしまう。年配の知人も怖いと言うし、「いいね」とかすると何かに巻き込まれると心配してしまう。

(委員)

私も「同意しますか」などが表示されると、安全かどうか心配となり、そこから前に進まない。

(委員)

私の支持者は、LINEの公式アカウントでの投稿は見てくれる。それは見るだけの一方通行的な仕組みだからだと思う。そのため、投稿を見た後の感想は言ってくれるが拡散はしない。年代にもよるが、若い人から広げてもらい親世代にも伝播すればと思う。

(委員)

高齢者でもインスタグラムを使う人は使う。例えば、私は旅行に行くとき、旅行雑誌から情報を得ようとするけど、妻からは情報が古いのでインスタグラムで調べると言われる。

(委員)

女性のほうが活用しているかもしれない。

(委員)

姫路西高等学校の資料では、「観光客が行く姫路の観光スポット」に書写山が入っていない。私としては、若い人たちに書写山圓教寺に足を延ばしてもらい、姫路での滞在時間を長くしてもらいたいと思う。

書写山はどんなイメージがあるのか、また、若い人に興味を持ってもらおうと思えば、どのように発信すればいいのか。

(高校生)

書写山ロープウェイから見る紅葉はすごくきれいだと思う。SNSでの投稿を増やせば、もっとつながると思う。

(高校生)

グーグルマップで書写山ロープウェイ周辺を見ると、周囲にお店があまりない。アクセスも1時間に何本程度のバスの運行があるのかと思う。

(委員)

おそらく1時間に最大3本程度であったと思う。

(委員)

姫路城を観光した人は、周遊バス等で圓教寺まで行けるとしても行かないと思う。どの調査を聞いても、若い人たちはあまり行っていない。何か方策はないのかと思う。

(高校生)

後輩からよく書写山に行こうと誘われる。

(委員長)

圓教寺が目的ではないのか。

(高校生)

後輩はハイキング目的だ。そのような切り口もいいと思う。

(委員)

県内でも自然歩道がたくさんあるが、増位山隋願寺、廣峯神社、書写山圓教寺まで続く自然歩道がある。一部だけの散策を毎日の日課にしている人もいるし、若い人とかもいる。前も海外の人が何人か連れ立っているのに出会ったこともあった。

(委員)

インスタグラムでハイキング好きな人が検索したら、書写山のたくさんある登山口を全て制覇しませんかという投稿が出てきたと聞く。そのような人たちも観光としてやって来ることもあると思う。

(委員長)

周遊型観光や書写山圓教寺へのアクセスなどで他に意見はないか。

(高校生)

インスタグラムで書写山を調べると割と投稿は出てくるが、どの投稿も「いいね」が少ない。おそらく、影響力のあるインフルエンサーが取り上げていないからだと思う。

(高校生)

投稿自体はたくさんあるし、紹介動画とかを投稿している人もいるが、見ている人が本当に少ない。

(委員長)

「いいね」数は何件ぐらいか。

(高校生)

「いいね」順であるが、一番上に出ている人が10件とかだ。ただし、かなり古い投稿であるが、リール動画で7.6万件「いいね」がついた投稿がある。

(委員)

誰が発信するかによって大きく変わってくるということか。

(高校生)

そのとおりである。

(委員長)

影響力のあるインフルエンサーに紹介してもらうことは確かに必要だ。

(高校生)

淳心学院高等学校が発表したものは、どうやって姫路に興味を持ってもらうかという視点であり、姫路西高等学校は、興味を持った人をどうやってその場に連れ込むかという連続性のあるものだったと思う。

そう考えると私たちが、行き方などを紹介ついでに、動画内に収めることができれば、さらに交通手段も寄り添うこととなり、人も行きやすくなると思う。

(高校生)

今の若い人は、大盛りの料理やきれいな景色などを瞬間的に多く見ているため、刺激の強さにどんどん慣れていっている。そのため、書写山の歴史的な深さなどは知る前にすぐ飽きてしまうと思う。瞬間的なインパクトの強さや他の山との差別化が必要だと思う。

(高校生)

公共交通機関についてであるが、私は新幹線で西明石から姫路まで行くことができるが、姫路までだと時間の割に運賃が高い。これは、新幹線だけじゃなくてJRや山陽電車もそうだ。

(高校生)

JRで舞子駅から姫路まで行くのに、700円近くかかる。山陽電車で行くとなったら740円だ。しかもJRは結構な頻度で止まる。新幹線を使うと1,000円を超えてしまう。

(委員)

神姫バスも高い。

(高校生)

その辺りも考えてみたらどうかと思う。

(委員長)

このテーマでプレゼンテーションを行った姫路西高等学校から意見はあるか。

(高校生)

旅行者を対象とすると、料金が高くても新幹線を利用

するのは現実的などころだと思う。また、新幹線の停車駅は、姫路の次は岡山だと思うが、文化圏が全然違うと思う。そこは弱点だとも感じる。

(高校生)

姫路から神戸に行こうと思うと新快速を利用する。新幹線イコール高額というイメージがあり、新幹線を使う発想が湧かない。新快速はほぼ特急であるが、特急料金がかからない。そういうところをアピールしたほうが良いと思う。

(高校生)

新快速も早いが高速度120キロぐらいだ。料金よりも時間重視の人が多いかなと感じるので、新幹線が良いのかなと思った。

(委員)

新幹線は駅までや乗り換えの時間などの不便さもある。新快速のほうが便利な地域も多いと思うが、座席に座れる確実性はないため、大きな荷物を持った旅行者にとっては厳しいと思う。

料金については、政策的に各社と協議が必要になると思う。

観光客や利用者が多くなると、バスの便やタクシーも増える。新幹線については、のぞみも昔は姫路に停車しなかったが、停車するようになると他の駅でも停車するようになったため、のぞみも昔のひかりのようになり、ひかりもこだまのようになってしまっている。

結局は利用者が増えれば問題も全部解決すると思うが、利用者を増やすとなると、例えば時短面が犠牲になるなどのデメリットも生じるため、ジレンマがあると思う。

また、SNSは費用対効果が高いというのはよく理解できる。写真1枚でもバズれば、本当に多くの人が訪れてくる。人がたくさん来ると、観光客にも優しい、また、市民にも便利なまちになっていくのかなと思う。

ただし、市が政策として実施する場合は、目的、施策立案、効果を実施前に考えることが必要で、さらに他の政策との兼ね合いもあるなか、予算や人、資源などの行政財産をどう振り分けていくか考えていく必要がある。特に観光施策はほかへの波及効果もあるが、その測定が非常に難しい。

(委員長)

外国語対応や、イベントに関して意見があれば発言

してほしい。

(高校生)

アクリエひめじはもっと活用できればすごくいい
なと思う。

(委員長)

活用が足りていないと感じるか。

(高校生)

学校の文化行事施設なのかとってしまう。

(委員長)

もっと対外的な大きなコンサートの開催や有名ア
ーティストの積極的誘致が必要か。

(高校生)

イーグレひめじがどのように活用されているのか
分からない。駅から距離もあるが、もっと活用できな
いのか。

(委員)

イーグレひめじのある場所は、かつてはいろいろな
建物が密集してあったが、これではいけないというこ
とで地権者が寄って再開発したという経緯がある。

市の施設としては男女共同参画センター「あいめっ
せ」が入っているが、元の経緯から商業施設や住宅地
も混在している。熱効率は悪いがガラス張りで一番姫
路城が見えるいい場所ではあるが、効果的な使い方は
確かにできていない。また、コロナ禍でレストランも
撤退してしまった。

(委員長)

姫路の高校に通う皆さんでも分かりにくいのであ
れば、観光客からしてみるとさらに分からないと思う。
確かに活用しきれていない資源だと思う。

(委員)

いい場所だと思うが駅からは遠い。自動車での移動
の多い市民にしてみると、やはり行きにくい場所だとも
思う。

(委員)

当初の目的と異なる活用をしようとする、どうし
ても制約が出てくると思う。

(委員長)

外国人や観光客をもっと誘致してくるという観点
から意見はないか。

(高校生)

大手前通りはともかく、1本中に入ったみゆき通り

に入ると英語表記がなくなるため、外国人観光客は全
く分からないと思う。その辺りは手を加えたほうがよ
いと思う。

(委員長)

確かに外国語表記もないので、外国人にとっては、
商店街より外を歩くのがよいと感じているかもしれ
ない。

(高校生)

自分たちが海外旅行に行く場合、参考となるのは、
インパクトのあるキャッチコピーだと思う。姫路城で
あれば、「日本で一番美しい城」とかアピールしても
いいと思う。それが不足していると思う。

(委員長)

姫路のPRのために、自分たちが海外旅行するとき
の視点から、どのようなキャッチコピーや写真を考え
るということはすごくいい意見だと思う。

(高校生)

学校行事で、海外からの学生を受け入れ、姫路城の
案内をしたことがあったが、英語力が足りず、もどか
しい思いをした。

案内となるQRコードをもっといろいろなところ
に配置してくれたら分かりやすくなると思う。

(委員長)

姫路城以外でも英語での音声・説明文・ビジュアル
などにリンクするQRコードを整備すれば、確かに理
解しやすくなる。執行部に伝えたいと思う。

観光に関する意見も出尽くしたようであるが、少し
時間があるので、議員活動など市議会議員に関する質
問があれば受けたいと思う。

(高校生)

市政に関する問題や改善要望などはどのようにし
て議員に伝わるのか。

(委員)

情報収集や解決への取組などは、議員それぞれであ
るが、まずは勉強である。その上で、どうすれば、よ
り良くなるのかを普段から意識して物事を見るよう
にしている。

また、こちらから意見を聞く場合や相談を受ける場
合もあるが、その意見が個人の偏ったものでないか、
まち全体の課題として多くの人が思っていることか
間違わないようにしないといけない。そのための調査

も必要だ。まず聞くことがスタートだと思う。

(高校生)

市議会議員は会社の社長が多いというイメージがあるがどうか。

(委員長)

私とかは議員専業だ。

(委員)

市議会の仕事をするに当たっては、確かに議員専業が最もよい。兼業で議員となる場合、職種に関して一部制限もあるが、自由が利かないといけない。そのため、社長などの経営者であれば自分で時間調整ができるという強みがある。

姫路市は議員専業でも、議員報酬で生活していくことができるが、規模の小さな自治体では副業をしなければ生活できないほど議員報酬が安いので、議員の成り手不足が問題となっている。

また、議員は4年に一度選挙があるため職として安定しているわけでない。議員年金もないし、社会保険も国民健康保険で自営業と同じ扱いであることも議員の成り手不足の原因となっている。

また、政策課題の見つけ方については、議会の役割として、以前は市長からの提案をチェックするのが中心であったが、近年は、それに加えて議会も提案型に変革している。

チェック機能については、市長から政策提案がなされた際に、その政策の目的達成の可能性や効果の有無を確認することになるが、議会からの提案については、制度や施設が完成した後、利用者である市民から不都合なところなどの意見を幅広く聞き、他都市の状況なども踏まえ、必要と判断した改善点を提案することになる。

(委員長)

議員にも様々なバックグラウンドがある。私であれば、40代女性ならではとか、議員となる前の職業からとかもある。議会はいろいろな立場での多様な意見が出され、それが集約される場所だと思う。

(高校生)

地方議員選挙は4年に1回あるとのことだが、議員が入れ替わることはあるのか。

(委員)

議員の当落については、現職のほうが知名度は高い

ということはある。また、立候補者と接点があれば、人となりを知ることとなるので、一度その人に投票すると、継続して応援することはよくあると思う。

もちろん新人に期待したいので、新人に投票する人もいる。何らかの政治的な流行に乗って当選した人は、次回選挙時にそのムードが終わっていると苦労することになる。

地方議員の場合、市民にある程度のつながりがあり、信頼されていると継続して当選することになると思う。

(委員)

姫路市の直近の改選では、45人の定数で新人は11人だったと思う。

(委員)

引退される人もあり、そのような入替えも多い。世代もいろいろと変わっていると思う。

(委員長)

サラリーマンであれば出馬しにくいとか、いろいろな事情があり、議員の成り手がいないため入れ替わりがないという事情もあるかもしれない。

皆さんは私たちと意見交換をする機会があったので、将来の仕事として市議会議員も1つの視野に入れてほしいと思う。議員は、別の仕事をしながらでも選択肢に入れることのできる職業とも思う。

本日は、私たちとはまた違った視点で意見を聞くことができよかったと思う。予定の時間となったので座談会を終了する。

意見交換終了

15時41分

副委員長挨拶

15時42分

閉会

15時44分